

腎泌尿器外科

1. 診療科としての特色

- 大学病院・複数のがん専門病院（がん研有明病院、がん・感染症センター都立駒込病院、埼玉県立がんセンター、国立がん研究センター東病院）を中心に症例が豊富な協力病院を有しており、泌尿器がん診療に必要な手術・化学療法・放射線療法などの系統的な知識を効率よく身につける事ができます。**早期より執刀医のチャンスがあります。**
- 本学、及び複数の協力病院にはダビンチシステム（手術支援ロボット）や腹腔鏡手術も導入されており、世界標準である**ロボット支援前立腺全摘除や腹腔鏡下泌尿器手術も執刀できるチャンスもあります。**
- 悪性腫瘍のみならず、尿路結石・前立腺肥大症・尿失禁・骨盤臓器脱などの幅広い分野において、腹腔鏡や尿管鏡、レーザーを用いた最先端の手術療法を中心とした専門的な診療を研修出来る環境が、協力病院を含めて整っているので、希望に応じて高いレベルで専門性を獲得する事ができます。
- 当科で開発し、全国的に普及している**ミニマム創内視鏡下手術**は、多くの協力病院でも行われており、協力病院でも本手術の研修が可能です。
- 筋層浸潤膀胱癌における低用量化学放射線療法＋ミニマム創内視鏡下膀胱部分切除による膀胱温存療法や、小径腎癌に対するミニマム創内視鏡下無阻血腎部分切除、限局性前立腺癌に対する密封小線源療法による前立腺部分治療などのオリジナルな治療や、最新のMRI/経直腸超音波融合画像ガイド下前立腺生検や、CRP、水分子拡散能などのバイオマーカーを用いた正確な診断・リスク評価といった臨床的な課題への取組により、若いうちから国際学会での発表のチャンスがあり、海外誌への論文投稿も行います。

2. 研修目標

■短期ローテーションする場合

- 泌尿器科の基本診療手技（局所麻酔下経会陰前立腺標的生検など）
- ロボット支援手術、ミニマム創内視鏡下手術の体験
- 経尿道的手術の体験・執刀（小さい膀胱腫瘍の切除、尿管ステント留置など）
- 泌尿器科領域の画像診断の基本
- 英語での症例プレゼンテーション

■長期ローテーションする場合

- 泌尿器科の基本診療手技（局所麻酔下経会陰前立腺標的生検、経皮的腎瘻造設、密封小線源永久刺入療法などに加え、MRI/経直腸超音波融合画像ガイド下前立腺生検など最先端の手技も含む）
- ロボット支援手術、ミニマム創内視鏡下手術の体験（内視鏡操作など）
- 経尿道的手術の体験・執刀（比較的大きい膀胱腫瘍の切除、前立腺切除など）
- 陰嚢内手術等の小手術の執刀
- 泌尿器科領域の画像診断の応用
- 膀胱全摘除や褐色細胞腫摘除後、あるいは重症複雑性尿路感染症例などのICU管理
- 排尿ケアチームカンファレンス・回診での排尿管理
- 英語での症例プレゼンテーション